



令和6年 通巻140号

食のチャレンジ講座2回目

1月20日霊山地区交流館で、懐かしい手打ちうどんづくりに挑戦しました。昔はどこの家でも小麦を作り、当たり前
に食卓にあったものが今は見られなくなりました。今回は男性の参加もあり、次はぜひあなたも挑戦してみてくださいか。(レシピについては霊山地区交流館まで)



食のチャレンジ講座3回目

2月14日、亜久里(あぐり)珈琲店主を講師に『コーヒーの淹れ方』について学びました。豆のうまみと香りを十分に引き出すためには、粉の量、抽出量やお湯の温度、注ぎ方など細やかな技術が必要との事でした。

次回は筆甫研修です



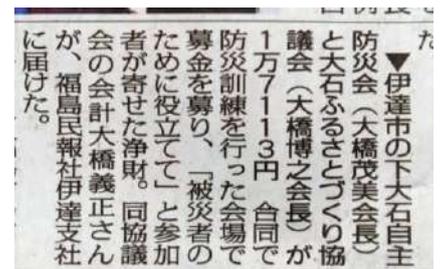
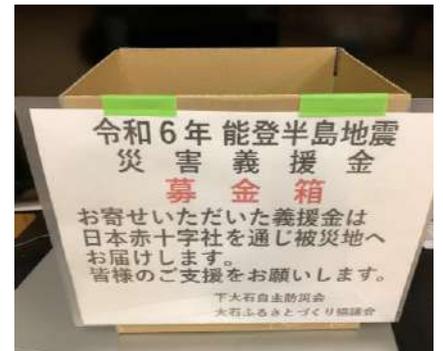
下大石自主防災会

1月28日開催の防災訓練に多数の参加をいただきありがとうございました。当日は福島テレビのお天気キャスターでお馴染みの斎藤恭紀さんの貴重なお話しや消防署員による心肺蘇生法など、災害がおきた時の対処方法を学ぶことができました。この訓練が円滑に開催できたのは大石ふるさとづくり協議会をはじめ交通安全協会など関係者の皆様のご協力の賜であり、改めて感謝申し上げます。



【募金御礼と報告】

1月28日開催の防災訓練会場で能登半島地震被災者への募金をお願いしましたところ、急な依頼にも拘わらず多数のご協力をいただきありがとうございました。募金総額は17,113円となり、2月6日に福島民報社伊達支社へ届け、民報教育福祉事業団を通じ義援金として被災地に送られたことをご報告いたします。(2/7付け福島民報新聞に記事が掲載されました)



日枝神社 新年会お茶会

1月14日に新年会を兼ねたお茶会を開催しました。今回は有志の方にお茶を点ていただき、新年らしい素敵なひとときをすごしました。次回は4月にお花見会を開催予定です。



齋藤喜芳さん宅のヤギの赤ちゃん

広畑部落の齋藤喜芳さんが飼っているヤギにこのたび2頭の赤ちゃんが生まれ8頭になりました。生まれて間もないにもかかわらず、岩の上に上り元気にじゃれ合って遊んでいます。親ヤギも雪に負けず元気にしています。



大石ふるさとづくり協議会

今回、下大石自主防災会と合同で開催した防災訓練では福島テレビのお天気キャスターとしてお馴染みの齋藤さんをお迎えし、貴重なお話を聞くことができました。齋藤さんは防災士の資格も持っており、お話しの中には「宮脇」や「霊山寺」など身近な地名が登場し、地区の危険箇所を具体的に指摘されました。大石地区は全般的に危険箇所が少なく比較的 안전한場所であるということも話されており、ここに住む者としては一安心というところです。しかし、自然災害は東日本大震災や今年初めの能登半島地震のように前ぶれもなく起き、人知を超えた被害をもたらします。有事の際、大切な命を守るためにも第一に自分で自分を守る「自助」そしてお互いが助け合う「共助」を心がけておきましょう。



浜田和彦集落支援員便り

前回のお知らせの通り、大石の住民の皆様を対象に「大石の未来を語ろう会」という意見交換会の場を大石ふるさとづくり協議会の了解のもと開催させて頂きました。第1回目(2/4)は地域の課題と地域の魅力を掘り起こし、今後どのように向き合っていけば良いかを考えるワークショップを開催。急な報知にも関わらず当日は30名近くの方々に集まって頂き、大石の現状と未来について闊達な意見交換ができたと思います(進行役は全国で地域再生の実績のあるウィルビー様)。今後第2回17日、第3回25日のワークショップを通じ、住民の共通目標となる大石地区の将来ビジョンをつくりあげていければと思いますので、引き続きご支援ご協力のほど宜しくお願いします。



大石掲示板

高野 伸一さん (田代)



第5代目 伊達な宣伝部長

引き続き、第5代伊達市宣伝部長に任命されました。趣味のボルダリングやマウンテンバイクを通して大石の山の魅力を伝えたいです。

今後の予定◆

- 2月25日 フロアーカーリング大会
- 3月8日 食のチャレンジ 筆甫地区研修
- 3月10日 初午
- 4月10日 大石楽生会総会

発行 大石ふるさとづくり協議会

【大石便り編集委員会】

～記事、取材、情報はこちらまで～

大橋庄信、村松初、大石精、須田純一
大橋敏博、大橋涉子(交流館)

霊山地区交流館○電話：024-587-1311(大橋)

○メール：hasime.muramatu@gmail.com(村松)